

第 1 号議案

令和 5 年度事業報告

概 要

令和 5 年度の事業は、イランの脊髄損傷者のための国際貢献活動セミナー、防災セミナー、いちご狩り、ピアサポート等のイベントが開催できました。川崎市、横浜市、相模原市の 3 か所において脊髄損傷者等及びそのご家族を対象にピアサポート相談会を実施いたしました。

平成 20 年度の事業計画で「神奈川県リハビリセンターにおけるピアサポートモデル事業として、グループ相談会やロールモデルの派遣、個別訪問のピアサポート活動などを、神奈川県支部のピアマネージャーや支部役員によって毎月一回定期的実施して行く」として、神奈川県リハビリセンター側と何度も話し合いを持ちましたが、結局実現には至らなかった経緯があり、まずは県内 4 か所から広く相談を受け付けることになり、全脊連神奈川県支部の役割の一つであるピアサポート事業が、広く県内の一般の脊髄損傷者を対象に本格的に始まった 16 年目の取り組みとなりました。

もう一つの大きな支部の事業として、共同募金からの助成金事業として、医療セミナー等の様々なセミナーを開催しておりますが、令和 5 年度は、神奈川県内の障害者の避難場所についての防災セミナーを実施いたしました。神奈川県福祉子ども未来局の岩下様と湘南医療大学の下田様に講演をしていただきました。ご存知の通り、今年の 1 月に石川県能登半島沖の大地震が発生して多くの犠牲者が出る大惨事になりましたが、非常にタイムリーな講演で有益な情報をいただきました。

1、～あなたの力になれます～

脊髄損傷者のための相談会の実施

～あなたの力になれます～『脊髄損傷者のための相談会』の開催は、永年に亘り脊髄損傷という重い障害と様々な困難を乗り越えてきた貴重な知識と豊富な経験を持つ当事者が、同じ脊髄損傷者等の精神的な支援と社会生活に必要なあらゆる情報を提供する相談会を実施し、脊髄損傷者が再び誇りある社会の一員として活躍できるよう支援していくことを目的に事業を実施しました。

主 催 全国脊髄損傷者連合会神奈川県支部
協 賛 一般社団法人 日本損害保険協会
公益社団法人 全国脊髄損傷者連合会

(1) 相談会開催期日及び会場

第1回 ミューザ川崎シンフォニーホール 会議室3
令和5年8月20日(日) 13:30~15:30
第2回 神奈川県民センター 602会議室
令和5年9月23日(土) 14:00~15:00
第3回 相模原市けやき体育館 機能訓練室
令和5年10月22日(日) 13:00~14:00
第4回 神奈川県民センター 601会議室
令和5年11月3日(祭日・金) 14:00~15:00

(2) 個別相談者合計 2名

第1回 相談者 なし
第2回 相談者 1名
第3回 相談者 なし
第4回 相談者 1名

(3) 支部出席者 延べ 21名

第1回 3名 澤藤、北島、小暮、ボランティア 2名
第2回 2名 赤城、小暮 ボランティア 1名
第3回 7名 赤城、澤藤、安藤、相馬、菅原、小暮
ライン参加 田辺
ボランティア 2名
第4回 2名 赤城、小暮 ボランティア 1名

(4) 個別相談会の内容

個別相談会を川崎市、横浜市、相模原市の3か所で実施し、合計2名の相談を受けた。

- ① 59歳男性、脊髄腫瘍の方で、腫瘍摘出から2年が経過しているが、リハビリをしても、あまり進展が見られず、自分と同じような障害の方の話しを聞いてみたいという相談。

- ② 88歳女性、頸髄損傷になり、息子さん夫婦が相談に来た。障害者手帳を未取得のまま、老人ホームに入所しているが思うようなリハビリができていないという相談。

○実施に当たっての所感

ピアサポート事業は、今回で16年目の実施となった。今後も更に相談者を増やすために、広報活動をもっと活発に展開していくことが必要であり、このような活動が神奈川県支部の責務であり、県内の脊髄損傷者やご家族のためであると考えている。

2、研修会の開催

「災害時における障害者の避難方法と避難場所」

日時 令和5年12月17日（日）

場所 相模原市あじさい会館 3F研修室

防災セミナー

講演 ① 神奈川県における災害時要配慮者支援について

講師 神奈川県福祉子どもみらい局福祉部地域福祉課

副主幹 岩下 記久氏

講演 ② “共に考える”災害時の安全と備え

講師 湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科

下田 栄次氏 専門理学療法士 博士（危機管理学）

参加者 19名

講演 ①の内容

災害時の要配慮者支援に関する制度

（1）市町村における備え

① 避難行動要支援者名簿

自ら避難することが困難であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者の名簿。

② 個別避難計画

名簿情報に係る避難行動要支援者ごとに、避難支援等を実施するための計画。

③ 福祉避難所

災害時、要配慮者が避難生活を送ることができる体制及び環境が確保された避難所。

(2) ご本人ご家族における備え

① ハザードマップ

自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被害想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図。

② 避難情報と警戒レベル

自らの命を守る（自助）の意識を持ち、自らの判断で避難行動をとるために提供される情報。

③ マイタイムライン

大雨によって河川の水位が上昇する時に自分自身がとる標準的な防災行動を時系列に整理した計画。

講演 ②の内容

“共に考える” 災害時の安全と備え

災害が起きた時の身体機能の変化について

TKB（生活環境支援）

- ・移動手段、スロープ
- ・浴室やトイレの手すり
- ・洋式トイレ
- ・布団からベッド

想定される災害時の課題

- ・運動機能 避難や移動が通常よりも難しくなる。
階段の上り下りや狭い通路の通過が困難。

＜備えの具体例＞ 避難経路を把握し、複数の避難場所を事前に確認する。
個々の車椅子に適した非常用車椅子を備えておく。

- ・排泄・排尿 適切なトイレや清潔な環境が確保されていない場合、健康リスクが高まる。

＜備えの具体例＞ 携帯トイレを家族の人数分×5回×7日間
断水したときも手を衛生的に保つためにウェットティッシュなどを備える。

想定される災害時の課題

バリアフリーな避難施設の不足

車椅子利用に適したバリアフリーな施設が不足している。

→指定福祉避難所への避難

＜備えの具体例＞ 適切な避難施設を事前に確認し、行動計画を立てる。

感染症へのリスク 避難所での密集が感染症の拡大を招くリスクがある。

＜備えの具体例＞ マスクや手指消毒剤など、感染予防用具を備蓄する。
医療機器の確保が難しい
電力供給が不安定な状況下で、医療機器の使用が制限される。

＜備えの具体例＞ 非常用電源やバッテリーパックを用意して医療機器の確保を図る。

○個別避難計画の作成

- ・必要な設備や物資の備蓄（自宅内の備蓄）
安全と健康を確保するために飲料水、非常食、トイレ、医療品、福祉用具などの備蓄、自宅内にも必要な設備や物資を事前に備蓄しておく。
- ・家庭内の緊急時対応計画（CMP）の作成
非常食や飲料水の備蓄 →最低3日分できれば7日分
緊急時の必需品（携帯ラジオ、懐中電灯、予備の薬、非常用トイレ等）

3、 2023(令和5)年支部総会の開催

開催日 2023年6月18日（日）

場 所 相模原市あじさい会館 3階研修室

支部定例総会 出席者 8名

委任状提出者 38名

合 計 46名

「資格審査」

令和5年度4月1日現在の支部会員数は63名であり、会則第10条2項による総会成立の定足数は32名以上となり、今総会は成立しました。

(総会議事)

議長の選任を諮り、赤城支部長を選任し、議事の審議へと進めました。

赤城支部長より、令和4年度事業の報告、相馬財政部長より令和4年度決算報告、安藤朱美監事より監査報告が行われた。

第1号議案 令和4年度事業報告

- (1) 「あなたの力になれます」 脊髄損傷者の相談会実施の報告
- (2) 共同募金助成セミナーの報告
- (3) 令和4年度支部総会の開催報告
- (4) 定例役員会の開催 第271回から第276回までの6回
- (5) 支部会報「やわらぎ」の発行 第115号、116号の2回発行

- (6) 共同募金活動への参加 桜木町駅前広場、相模原市役所前の2か所
- (7) 第22回定時総会福岡県大会出席
赤城支部長、澤藤副支部長、小暮事務局長がZOOMにて出席
- (8) 関東甲信ブロック会議
赤城支部長、小暮事務局長が出席（ZOOM参加）
- (9) 協会活動報告 川崎、横浜、県央、西湘の各協会報告
- (10) その他の活動報告 県内の各関係機関への参加活動報告

第2号議案 令和4年度決算報告及び監査報告

- (1) 貸借対照表
- (2) 収支決算書
- (3) 令和4年度監査報告書
- (4) 付属 地区協会決算報告書

以上、令和4年度事業報告、令和4年度決算報告及び監査報告を一括審議の結果、全会一致で承認されました。

また、第3号議案の年度活動方針及び、川崎、横浜、相模原市の3か所の公共施設においてピアサポート相談会の開催などの事業計画および第4号議案の令和5年度予算案は支部提案通り全会一致で承認されました。

4、定例役員会の開催

神奈川県支部を運営して45年目を迎えた2023年度の定例役員会はオンライン会議を4回、会場での会議を2回行いました。

役員会には、支部役員が毎回出席して支部活動に関する報告や企画、催事の開催と調整などについて協議を行うなど、支部の運営はすべてこの役員会の合議を経て維持されています。

役員会	開催日	開催会場
第277回	2023年 4月23日	オンライン会議
第278回	2023年 6月18日	相模原市あじさい会館
第279回	2023年 8月13日	オンライン会議
第280回	2023年10月22日	相模原市けやき体育館
第281回	2023年12月10日	オンライン会議
第282回	2024年 1月13日	オンライン会議

5、支部会報「やわらぎ」の発行

第116号は総会議案書

第117号は、年頭所感、いちご狩り、わいわい味わいランチ会、川崎協会研修会防災セミナー。

＊やわらぎ第116号（総会議案書）・・・2023年5月21日発行

＊やわらぎ第117号・・・・・・・・・・・・2024年2月 4日発行

6、共同募金活動に参加

赤い羽根の共同募金は、民間社会福祉事業やボランティア・市民活動をはじめとする、地域での支え合い活動を支援する資金となるとともに募金活動を通して、市民に助け合いの心を普及する大きな意義を持っていると言われている。支部では、毎年この活動に参加しています。

昨年度は、県社協分を10月3日に桜木町駅前で赤城支部長が参加。

（募金額10団体合計で107, 286円）

相模原社協では、10月5日に相模原市役所前で赤城支部長が参加しました。

（募金額 6, 055円）

7、全国定時総会福岡県大会出席

全背連の第22回全国総会は、6月9日から10日までの日程でアクロス福岡において開催され、全国から社員が出席しました。

支部から、赤城支部長、澤藤副支部長、小暮事務局長がZOOMにて参加しました。

総会は、令和4年度事業報告、決算報告、監査報告、令和5年度事業計画および予算案についてなどの審議が行われすべて可決されました。その後大会スローガンの採択と次期全国定時総会を愛媛県で開催することを決め全国総会は終了しました。

8、第46回関東・甲信ブロック会議 栃木県大会に出席

関東地区の東京都、神奈川県、千葉県、群馬県、栃木県、埼玉県、長野県、

茨城県、山梨県の各支部が一堂に会して、障害者福祉制度やバリアフリー環境の問題点等について意見交換と情報交換と親睦を兼ねて、毎年持ち回りで開催しています。

栃木県大会は、10月15日（日）にライトキューブ宇都宮にて開催され、赤城支部長、安藤監事、小暮事務局長がZOOMにて参加しました。

日本損害保険協会助成事業として全脊連が全国規模で毎年開催している関東ブロックでの脊損のピアサポート研修会は、言うまでもなくピアサポート活動を行う上で必要な技術と資質の向上を目的としていますが、各支部での活動がもっと普及されることが大切であり、研修会の内容をさらに改善する必要があると思われます。

9、各協会報告

令和5年度は、川崎協会が催事を開催し、会員の皆様にご案内し参加者を募りました。

川崎協会

海外の脊髄損傷者のために……国際貢献活動の報告を聞いてみよう！

講師 NPOイランの障害者を支援するミントの会

パシャイ モハメド氏

パシャイさんは、2004年に日本で瀕死の重傷を負い脊髄損傷者になり、車椅子の障害者になりました。その後、日本から福祉機器をイランへ送る活動を開始。

NPOイランの障害者を支援するミントの会を設立、代表理事就任。イランと日本を行ったり来たりしながら、福祉機器の提供やリハビリ、看護支援を日本の専門家の協力を得て活動。2022年にイランのキャラジ市にミントリハビリセンターを開所しました。

10、その他の活動

- 1、相馬財政部長が神奈川県障害者差別解消支援地域協議会に出席。
- 2、安藤監事は、社会福祉サービス運営適正化委員会に出席。
- 3、いちご狩り……令和5年3月12日 内海いちご園
- 4、ワイワイ味わいランチ会…令和5年7月21日 横浜ジンディンロウ